■**野町議員**

南国安芸道路の芸西西インターチェンジから安芸西インターチェンジまでの道路整備の進捗状況と課題について問う。

■**土木部長**

平成23年度に事業化、平成24年度から地元との協議を重ね、芸西村では4地区のうち2地区、安芸市では6地区のうち5地区で設計協議が完了、用地調査や用地交渉を進めています。安芸市の設計協議が未完了の地区では多くの要望があり、引き続き協議を重ねていきます。芸西村では地権者や地元の皆様にご理解をいただき測量に入り予備設計を進めています。



地元の東部自動車道対策協議会
（平成28年3月）

■**野町議員**

芸西村から東へ延伸する道路は施設園芸地帯の真ん中を横断する計画であり、ハウスの移転による建てかえ、営農の継続をどう支援するのか問う。

■**農業振興部長**

延伸に伴い、安芸市と芸西村では15ヘクタール余りのハウスが影響を受けます。ハウスの移転は営農条件を変えることで負担が大きく、規模縮小や離農などの施設園芸産地の縮小が懸念されます。営農の継続を支援し、移転による建てかえなど農業者の経営発展や産地の強化につなげる対応が重要と考えます。速やかな代替地の確保と必要な基盤の整備、ハウスの計画的な整備を支援します。移転先の土地の確保は、優良農地をつくり出す取り組みなども活用し対応していきます。

南海トラフ地震を含む自然災害への対策について

■**野町議員**

自然災害による被害は近年多発している。穴内海岸の堤防も再三被害を受け、安芸漁港の沖防波堤ではケーソンの破損や、漁港内には漁船の係留避難ができない部分があるなど、対応に苦慮している。そこで台風などの公共土木施設の被害状況、対策について問う。



台風時の穴内海岸（平成27年8月）

■**土木部長**

平成16年から平成25年までの10年間の平均で、被害箇所約800カ所、被害総額約56億円となります。年により発生状況にばらつきがあり明らかな傾向は見られません。昨年は、全体で1,370カ所、総額138億円の被害が発生、被害額は10年間の平均の約2.5倍でした。緊急を要する箇所は災害査定前に応急復旧工事を行うなどの対応をしています。



安芸市·千葉県富里市 災害時相互応援協定締結式
（平成28年3月）



熊本地震の避難所でのボランティアに夫婦で参加
（平成28年5月）

■**野町議員**

海岸沿いを車で走行中に津波が発生した場合、避難先や避難方法がわからず逃げ遅れてしまう。避難方法やドライバーへの避難先の周知について問う。

■**土木部長**

地震発生時の避難方法は、県発行の「南海トラフ地震に備えちょき」などで啓発しています。通行中のドライバーへの周知は、津波浸水区間や海抜の表示などにより津波に関する情報を提供しています。避難場所や避難路には、誘導看板を道路区域内に設置するよう協力します。御指摘の点は極めて重要であり第3期の南海トラフ地震対策行動計画で対策をさらに充実していきます。



増えてきた避難場所等の標識

■**野町議員**

高齢化が進む中、自主防災組織の活動の充実や担い手の確保、将来にわたる活動の継承について県の支援策を問う。

■**危機管理部長**

組織の立ち上げ、避難路の整備、訓練や防災用の資機材の購入、防災学習会の開催など、自主防災組織の活動に補助制度を設け支援しています。活動している方の固定化や高齢化の課題には、リーダーを育成するための研修や防災士の養成講座の開催など、新たな担い手の確保に努めています。訓練や避難所の環境整備には、補助制度を拡充して支援したいと考えます。養成した防災士の方々による地域での防災活動は自主防災組織の活動が活性化し、活動の継承につながると考えます。



安芸市防災訓練（平成27年9月）



安芸市自主防災組織女性部会研修会（パネル展示）
（平成27年11月）

観光振興策について
～435万人観光の早期実現に向けた取り組み～

■**野町議員**

産業振興計画において取り組んだこれまでの観光振興の総括と、明治維新150年など歴史にスポットを当てた435万人観光の実現について問う。

■**知　事**

第1期産業振興計画で観光八策としてスタート、大河ドラマ龍馬伝の放送決定に伴い「土佐·龍馬であい博」を開催。平成22年に過去最高435万人の県外観光客数を達成、第2期では観光キャンペーン「リョーマの休日」を展開、四国初食の県民総選挙を行いました。龍馬パスポートによる周遊の促進とリピーターの確保を推進し「高知家·まるごと東部博」などの地域博覧会を通じ広域観光組織の基盤づくりに努め、国際観光の推進にも着手した結果、300万人台で推移していた県外観光客数は、平成25年から2年連続400万人以上を達成、観光総消費額750億円前後が2年連続で1,000億円を超え、成果が出たと考えます。今後は歴史を中心とした博覧会の開催に向け、歴史と食、自然が一体となった地域の観光クラスターづくりを進め、博覧会終了後の持続的な観光振興につなげます。自然を生かしたスポーツツーリズムの推進や大会、会議の誘致、国際観光の推進を強化し、435万人観光の定着に取り組みます。

熱血　尾﨑県知事や県幹部に地域の皆さんと連携して陳情!



安芸市長、議長らと知事への陳情
（平成27年7月）



安芸郡医師会会長と東部三県議による県健康政策部への東部看護学校（仮称）設置に関する陳情　（平成27年10月）



芸西村長、JA土佐あき役員らと農業振興部、産業振興部への陳情（平成28年2月）

熱血　地域の皆さんの生活相談に対応しています!

住民の皆さんのご要望を受け、現地確認後、各行政機関などと連携しています。



安芸事務所を開設
（平成28年1月）





畜産振興打合せ



市議会議員らとの勉強会
（TSUTAYAとの図書館会議）



赤野川魚道改修



安芸川災害復旧工事



県道改



和食川

■**野町議員**

坂本龍馬に続く歴史上の人物として取り上げていきたい人物、地域、物語など、具体的な構想について問う。



高知城歴史博物館

■**観光振興部長**

今後策定する基本計画の中で、歴史の専門家、関係市町村と連携し、幕末や明治維新に活躍した歴史上の人物をどう歴史観光の基盤にするか検討を進めていきます。

■**野町議員**

安芸市は三菱財閥の創始者、岩崎彌太郎の出身地であり、MRJ（三菱航空機㈱の国産初ジェット旅客機）の初フライトを誘致できないかについて問う。

■**中山間対策・運輸担当理事**

MRJは座席数が70席から90席程度の短距離路線向けの小型旅客機ですので、高知―伊丹間は就航路線の候補の一つになることも期待されます。高知への初フライト、定期就航に向け可能性を探っていきます。

■**野町議員**

観光ボランティアガイドの位置づけ、現場の声を施策に生かす方法、スキルアップや活動への支援策について問う。

■**観光振興部長**

高知県観光ガイド連絡協議会を通じた研修会の開催、新たな観光ボランティアガイド団体の立ち上げ支援、ガイド養成支援などを行っています。観光ボランティアガイドは観光施設の設備やサービスの改善点などの情報提供していただくなど、その役割はますます重要と考えます。各地域の広域観光組織の構成メンバーに参画いただけるよう働きかけ、地元の市町村や観光協会などに地域団体との連携の必要性を説明をしていきます。

■**野町議員**

四国遍路の世界遺産認定に向けた取り組みが進められている。いかに観光戦略に生かすか、また外国人観光客への対応を問う。



フランスの友人が来高（平成27年11月）

■**観光振興部長**

四国遍路を生かした観光戦略は、本年6月に国の事業にて四国遍路を核とした四国広域観光周遊ルートが大臣認定を受け、四国ツーリズム創造機構と県、国が連携し取り組んでいます。遍路路やお接待、自然、歴史、文化、祭り、食と組み合せ、リピーター層の誘致につなげます。今後5年間の総合戦略と戦略ロードマップを策定し、モデルコースづくりや海外旅行博でのプロモーション活動を行います。ニーズに対応した旅行商品化や、公共交通機関との連携にも取り組み、今年度より観光案内板や施設看板の多言語化、Wi-Fi環境やトイレの洋式化、外国人観光案内所の設置を進め、受け入れ体制の充実を図ります。



台湾旅行会社との意見交換（平成28年3月）
【台日友好議連】



北海道での国際観光に関する調査（平成27年9月）
【常任委員会】

～「高知家・まるごと東部博」について～

■**野町議員**

主要11施設への入込み客数は期間中約77万人、前年対比118%と一定の成果があがった。当博覧会の総括と次の奥四万十博へどうつなげるかについて問う。



高知東海岸グルメまつり開会式

■**観光振興部長**

宿泊者数は約8万9,000人、前年対比約5,000人増、体験プログラムの参加者数は約5万5,000人と博覧会の目標値の約2.3倍となり、地域の食や自然、文化を体験できる新体験プログラムづくりが進みました。2016開催の奥四万十博は、東部博と情報を共有し、成果のあったセールス活動や地域の方が参加できる仕組みづくりを行っています。博覧会を通じ、官民一体となる観光地づくりの持続を支援します。



PR用パンフレット



グルメまつり会場（平成27年10月）

■**野町議員**

東部博終了後の東部広域観光への支援策について問う。

■**観光振興部長**

広域観光の強化には、地域事業者と連携した観光商品を組み合わせた周遊プランを提供する組織体制が必要となります。東部地域では新たな広域観光を担う法人設立に向け準備（平成28年2月設立済）を進めており、人的財政的な支援を行っていきます。

■**野町議員**

岩崎彌太郎を初めとする歴史資源を生かした東部の観光振興について、所縁のある他地域との連携について問う。

■**観光振興部長**

土佐・龍馬であい博と志国高知龍馬ふるさと博で東部地域出身の歴史上の人物やゆかりの地を紹介してきました。「高知家・まるごと東部博」では、安芸市立歴史民俗資料館で三菱史料館と連携し「岩崎彌太郎生誕180周年里帰り展」を開催しました。歴史を中心とした博覧会開催に向け、幕末から明治に活躍した人物やゆかりの地を更に磨き上げ、県外との連携を含めた戦略づくりも進めます。



芸西 琴ヶ浜 竹灯りの宵（平成27年9月）



彌太郎の長男久彌氏の別邸（千葉県富里市）

「元気、即行動、一生懸命!」で県政に全力投球しています!

熱血 多くの地元イベントに参加させていただきました!



修現地確認（畑山）



の除草及び川床掘削



伊尾木洞清掃



和食ダム定礎式



芸西村集落活動センター開所式



公民館駅伝



阪神タイガースキャンプ



チャレンジショップ

熱血 県政報告会を開催しました!





昨年11月30日に初めての県政報告会を安芸市において開催しました。会場には200人以上の地域の皆さま、また、来賓として三石県議会議長、横山安芸市長、竹内芸西村長をはじめ政界、産業界などから多くの皆さんにご参加いただき、大変賑やかな報告会となりました。この他、安芸市議会の皆さまとの勉強会や各地区での集会などにも出向き、随時活動報告をしています。